

平成28年3月18日

日本生命保険相互会社

## ニッセイ インターネットアンケート

### ～3月:「子育て」に関する調査結果について～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「子育て」に関するアンケート調査を実施いたしました。

#### 《調査概要》

- 調査期間 : 平成28年2月1日(月)～2月18日(木)
- 実施方法 : インターネット(PC・携帯電話モバイルサイト)による回答
- 調査対象 : 「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数 : 14,215名(男性:7,585名、女性:6,630名)

<年代別回答者数>

[名、%]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	367	1,181	2,452	2,267	1,019	299	7,585
女性	509	1,258	2,034	1,703	842	284	6,630
合計	876	2,439	4,486	3,970	1,861	583	14,215
占率	6.2	17.2	31.6	27.9	13.1	4.1	100.0

#### 《調査結果のポイント》

**ポイント①** 希望出生率1.8は実現できる？  
**質問1** 30代以下の方の4人に1人は3人以上お子さまがほしいと回答

**ポイント②** 他人事ではない？  
**質問3** 30代以下で就学中・就学前のお子さまがいる方の約2割が待機児童経験ありと回答

**ポイント③** 約4割の方が、保育料が値上がりしたとしても、  
**質問6** 「利用時間の延長」「待機児童の解消」の実現を希望

■安倍内閣では希望出生率 1.8 を掲げています

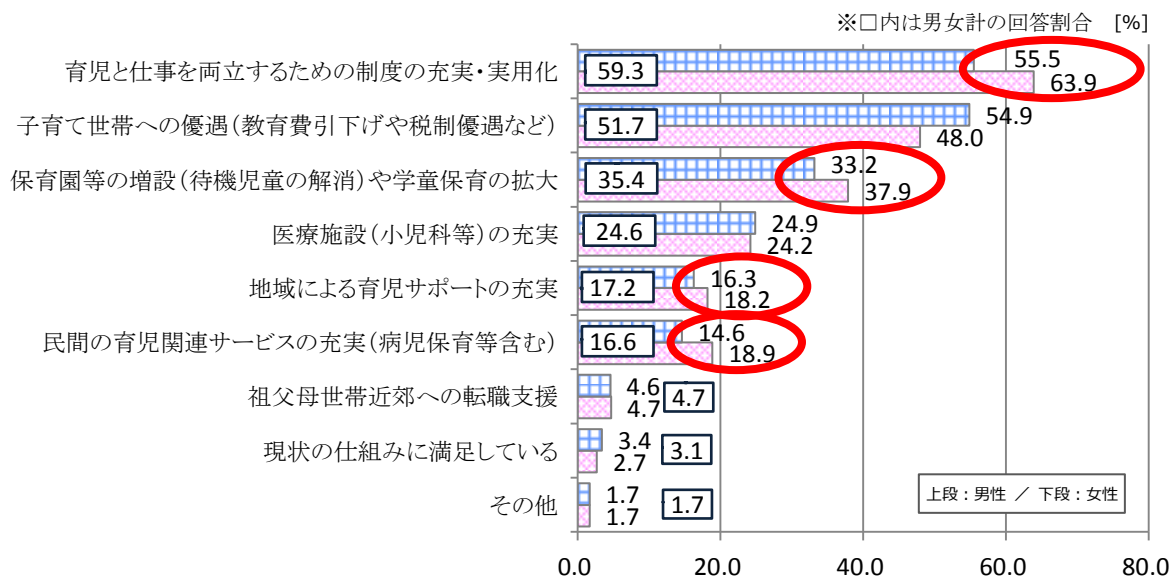
質問 1 お子さまを持つとしたら何人ほしい（ほしかった）と思いますか？（回答者数：14,215名）

○希望するお子さまの人数は「2人」が最多となった。また、30代以下の方の4人に1人は「3人以上」を希望している。一方で、「0人」と回答した方も6%を超えた。

	<年代別>							[%]
	全年代	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
0人	6.2	5.9	4.7	7.2	6.5	5.7	4.8	
1人	7.5	9.2	7.8	10.3	5.7	4.2	4.1	
2人	51.4	58.8	56.1	51.4	51.8	43.6	44.4	
3人	30.8	23.2	28.0	27.3	32.1	40.8	38.6	
4人以上	4.1	2.9	3.4	3.8	3.9	5.7	8.1	

質問 2 出産・育児にあたり、よくなればよいと思う項目は何ですか？（複数回答可／回答者数：12,891名）

○出産・育児にあたり、「育児と仕事を両立するための制度の充実・実用化」や「子育て世帯への優遇」の向上を期待する人が過半数に達した。また、4割近くの女性が、「保育園等の増設や学童保育の拡大」を期待しており、地域・民間の育児サービスについても女性を中心に期待が高い。



<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>



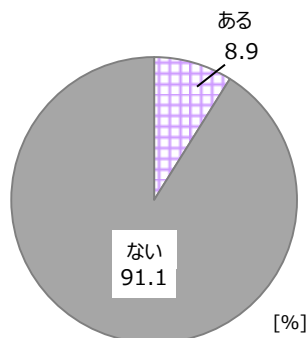
出産・育児に関する希望では、「育児と仕事を両立するための制度の充実・実用化」で女性が6割を超えて男性との差が大きくなっており、「保育園等の増設や学童保育の拡大」や「民間の育児関連サービスの充実」でも女性のほうが高くなっていました。一方、男性では「子育て世帯への優遇」で女性を上回る以外は女性と同等の回答に留まっています。

この結果は、現状では依然、女性が育児の中心的な担い手であり、男性の育児参加が進んでいないことが、男女間で育児に関する課題の認識にズレを生じさせていることを表しているものと考えられます。

質問3 お子さま・お孫さまが待機児童になられた経験はありますか？（回答者数：12,891名）

○約1割の方が待機児童経験があると回答。特に就学中・就学前のお子さま・お孫さまがいる方のうち30代以下の方については約2割と回答割合が増加した。

<待機児童経験(全年代)>



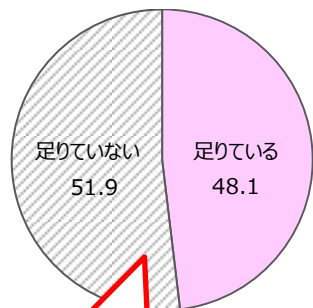
<待機児童経験があると答えた方の回答割合>

	総計
全年代	8.9
現在、就学中・就学前のお子さま・お孫さまがいる	13.7
うち30代以下	18.4

質問4 あなたのお住まいの地域では保育園や認定こども園（以下、保育園等）は足りていると思いますか？（回答者数：14,215名）

○保育園等が足りていないと感じる方が全体で半数を超えた。ただし、都道府県別に見ると、地域格差がある結果となっている。

<保育園等は足りている？>



過半数が「足りていない」と回答

<都道府県別回答割合（上位5都道府県）>

<足りている> [%]		<足りていない> [%]	
和歌山	82.8	沖縄	73.1
富山	82.1	大分	71.6
石川	78.9	東京	66.4
福井	76.5	大阪	61.3
秋田・宮崎	75.0	神奈川	61.2

<「保育園等が足りていない」と回答した割合（都道府県別）>

												[%]	
北海道	54.4	茨城	45.9	新潟	25.9	静岡	50.0	奈良	53.1	徳島	53.6	熊本	54.9
青森	30.8	栃木	40.2	富山	17.9	愛知	40.8	和歌山	17.2	香川	29.8	大分	71.6
岩手	38.8	群馬	30.0	石川	21.1	三重	35.2	鳥取	27.7	愛媛	41.9	宮崎	25.0
宮城	58.9	埼玉	60.0	福井	23.5	滋賀	48.0	島根	36.6	高知	34.8	鹿児島	40.2
秋田	25.0	千葉	56.0	山梨	31.1	京都	46.8	岡山	51.4	福岡	52.2	沖縄	73.1
山形	41.1	東京	66.4	長野	27.2	大阪	61.3	広島	52.7	佐賀	51.7		
福島	50.7	神奈川	61.2	岐阜	33.3	兵庫	53.0	山口	34.8	長崎	30.8	全体	51.9

※「足りている」上位5県を網掛け、下位5都府県を反転表示

<ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント>

待機児童の問題は首都圏など都市部の問題と考えられがちですが、沖縄県や大分県を筆頭に、地方都市のなかでも「足りていない」割合が過半数を占める都道府県があることは、女性の社会進出が進む中、地方においても待機児童の問題が生じているさまがみてとれます。

「一億総活躍社会」実現のためには、子育て期における女性の就業継続に向けた支援が不可欠であることを鑑みれば、足下の待機児童数の多寡にとらわれず、保育園等の育児施設を含め様々な制度のより一層の充実を図っていく必要があるといえるでしょう。

質問5 (就学前のお子さまを保育園等に入園させなければならない状況になったと仮定して)

保育園等を選ぶにあたり、1番重視する項目は何ですか？(回答者数：14,215名)

保育園等を選ぶにあたり、2番目に重視する項目は何ですか？(回答者数：14,215名)

- 保育園等を選ぶ際に1番重視する項目は男女ともに「自宅からの距離」となった。20代以下では、「入園にかかる費用」「勤務先からの距離」について、他の年代よりも回答割合が高くなっている。
- 2番目に重視する項目は「自宅からの距離」に加え、「入園にかかる費用」「保育時間の長さ」「すぐに入園できるかどうか」などが上位に入った。

<保育園等を選ぶ際に1番重視する項目>

[%]

	総計	年代別						男女別	
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	男性	女性
		自宅からの距離	43.7	41.4	43.8	44.5	41.7	45.5	48.7
すぐに入園できるかどうか	8.1	9.1	8.0	7.6	8.2	8.6	9.1	8.1	8.2
利用者の評判	8.1	7.3	7.2	8.3	9.4	6.7	6.0	8.1	8.0
保育時間の長さ(早朝・夜間など)	8.0	7.6	6.6	8.5	8.9	7.7	5.1	8.0	8.0
入園にかかる費用	7.3	9.6	7.5	8.0	6.3	6.6	7.7	8.2	6.4
保育方針	6.7	4.9	7.1	7.0	6.9	6.1	6.9	5.7	7.9
勤務先からの距離	5.8	9.6	6.4	5.3	6.0	4.2	4.6	4.7	7.0
保育士の人数・経験	5.3	4.1	4.8	4.6	5.7	7.6	3.9	4.9	5.7
認可制かどうか	3.6	3.3	4.3	3.5	3.7	3.0	3.8	2.7	4.6
設備(園庭の広さ・遊具など)の充実度	2.2	2.2	2.7	2.0	1.9	2.6	2.7	2.3	2.1
保育年齢(0歳児保育の有無含む)	1.1	0.8	1.6	0.6	1.2	1.3	1.3	0.8	1.3

<保育園等を選ぶ際に2番目に重視する項目>

[%]

	総計	年代別						男女別	
		~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	男性	女性
		自宅からの距離	27.8	27.7	27.3	27.7	26.7	28.8	33.8
入園にかかる費用	13.1	13.4	12.5	13.6	13.2	12.5	12.2	14.3	11.7
保育時間の長さ(早朝・夜間など)	11.1	10.2	11.8	10.9	12.0	10.6	7.4	10.9	11.4
すぐに入園できるかどうか	10.6	11.3	10.5	10.7	10.3	11.3	8.9	11.0	10.1
勤務先からの距離	8.0	11.2	8.7	8.2	7.0	7.5	8.1	6.8	9.5
保育士の人数・経験	7.5	4.8	6.2	7.1	8.4	9.2	8.7	7.4	7.6
利用者の評判	7.3	7.3	6.8	7.9	7.7	6.1	6.5	7.6	7.0
保育方針	5.3	4.8	5.5	4.9	5.5	5.7	6.2	5.1	5.6
設備(園庭の広さ・遊具など)の充実度	5.0	4.6	6.6	4.8	4.8	4.4	3.9	5.1	4.9
認可制かどうか	2.6	2.7	2.2	2.7	3.0	2.3	2.6	2.2	3.1
保育年齢(0歳児保育の有無含む)	1.6	2.1	1.8	1.6	1.4	1.6	1.7	1.6	1.6

**質問6 (就学前のお子さまを保育園等に入園させなければならない状況になったと仮定して) 保育園等について、保育料が値上がりしたとしても実現を希望する項目は何ですか？**  
(複数回答可/回答者数：14,215名)

○約4割の方が、保育料が値上がりしたとしても「利用時間の延長」「待機児童の解消」の実現を希望している。男女差の大きい項目として、「兄弟姉妹は同じ保育園に入園できる」「病児保育の実施」については、男性は2割程度にとどまったものの、女性は3割近くが希望した。  
○一方で、約1割の方は「値上がりするならサービスは現状維持でよい」と回答した。

＜保育料が値上がりしたとしても実現を希望する項目＞

[%]

			総計
	男性	女性	
利用時間の延長（早朝・深夜など）	40.3	37.5	39.0
待機児童の解消	36.9	33.0	35.1
土日祝日の受入れ	★ 25.1	28.4	26.6
兄弟姉妹は同じ保育園に入園できる	★ 20.9	26.6	23.6
病児保育の実施	★ 16.3	27.5	21.5
値上がりするならサービスは現状維持でよい	9.4	7.1	8.3
0歳児の受入れ	★ 6.1	7.5	6.7
台風等の場合も通常運営	★ 4.2	6.7	5.4
その他	★ 0.8	1.0	0.9

★印は男性よりも女性の方が回答割合が高かった項目

送迎、給食、保育士の増員など

＜ニッセイ基礎研究所 井上智紀 准主任研究員のコメント＞

「利用時間の延長」や「待機児童の解消」は、現在の就労環境下において仕事と育児を両立していくうえで、重要な要素と考えられているものと思われます。一方、「病児保育の実施」や「兄弟姉妹が同じ保育園に入園できる」については、男女差が大きく特に女性の回答割合が高くなっていました。これらの項目の実現は、子どもを持ちながら仕事を続ける親にとって心強い支援になりうるものですが、女性に比べ男性の回答割合が低いことは、子育てに関する負担が女性に集中しがちな現状にあって、女性のほうがより切実にこれらの支援を求めている証左といえるのではないのでしょうか。

以上